

資料2 被害者等支援・事故防止対策の充実 に向けた予算要求に対する考え方

令和4年7月12日

令和5年度予算要求に向けた見直しの考え方(被害者等支援)①

療護施設の
機能強化

令和4年度

約40億円



増額要求
(令和4年度比)

令和5年度

療護センターにおけるリハビリ機能の強化、治療改善効果の向上により、遷延性意識障害者の療養環境の改善、脱却者数の増を目指す。

脊髄損傷の方向け
療護施設の新設

令和4年度

—



新規要求
(令和4年度比)

令和5年度

脊髄損傷の方を対象としたリハビリを中心に据えた療護施設を新設。重度の脊髄損傷を負った方のリハビリ環境を整備し、将来の社会復帰を見据えた取組みを推進。

令和5年度予算要求に向けた見直しの考え方(被害者等支援)②

高次脳機能障害者の
社会復帰の促進

令和4年度

0.4億円



令和5年度

増額要求
(令和4年度比)

高次脳機能障害の方を中心に社会復帰に向けたリハビリを適切に受けられる環境を整備し、将来の社会復帰・住み慣れた地域への復帰を目指した取組みを推進。

介護者なき後対策
の強化

令和4年度

3.7億円



令和5年度

増額要求
(令和4年度比)

介護者なき後の生活の場となるグループホーム等の新設を支援するとともに、在宅での生活の継続を視野に入れた環境整備を目指すことにより、介護者なき後への不安軽減に取り組む。

救急医療機器の
導入廃止

令和4年度

0.0億円



令和5年度

廃止

他制度による支援の状況、国土交通省による支援へのニーズ等に鑑み、廃止

令和4年度

令和5年度

自動車アセスメント
の充実

74億円の内数

増額要求
(令和4年度比)

自動車の安全性能の「見える化」を図ることにより、自動車ユーザーが自動車の購入に際して、より安全な自動車を選択していただけるよう促し、安全・安心なクルマ社会の実現を目指す。

令和4年度

令和5年度

先進安全技術の
普及促進

8.5億円

増額要求
(令和4年度比)

事故発生の防止に効果的な衝突被害軽減ブレーキ等の先進安全技術の普及を促進することにより、支援を必要とする事故被害者の発生を抑制することを目指す。